

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.10)

豊田市産業廃棄物課及び労働基準監督署による現場状況視察

日本環境安全事業株式会社(JESCO)の豊田PCB廃棄物処理施設は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められた手続きとして、平成16年3月3日に豊田市の産業廃棄物処理施設設置許可を受けて、現在建設工事を行っています。工事完成時には豊田市の使用前検査を受検し、設備や建物が適正に設置してあるか確認していただきます。

また、豊田労働基準監督署に対しては、特定化学物質取扱施設として労働安全衛生法に定められた各種設備の設置許可申請を提出しており、4月から5月に掛けて設置の完了検査を受ける予定です。

このように、関係行政機関の検査を受けた後、各段階に分けて試運転を実施し、安全で確実にPCB廃棄物を処理できることを確認していきます。

このため、去る1月20日(木)に豊田市の検査を担当する豊田市産業廃棄物課が、工事中の現地を視察され、各処理設備の設置状況など詳細に確認していただきました。なお、この視察には愛知県廃棄物対策課も同行され、一緒に確認していただきました。



労基署による視察



県、市担当者の視察

また、1月26日には豊田労働基準監督署が、許可設備の設置状況を視察され、労働安全衛生上の観点から、施設の安全性や作業従事者の作業環境面での設備の設置状況を工事の中間段階で、確認していただきました。

液処理反応槽の工場検査立会

豊田PCB廃棄物処理施設では、高圧トランス・高圧コンデンサなどの電気機器より抜き取ったPCB油と、洗浄装置や真空加熱分離装置(事業だよりNo.7及び8で紹介)で分離したPCB油を、脱塩素化分解法により化学分解処理して無害化します。なお、この工程は液処理工程といい、液処理反応槽で行います。

液処理反応槽には、始めに反応媒体油(穏やかな反応を行うための油)の中に入った微粒子状の金属ナトリウムを入れておき、攪拌しながらその中にPCB油を少量ずつ注入していきます。PCBは、ビフェニルと塩素で構成する化学物質ですので、注入されたPCBの塩素がナトリウムと反応して、食塩とビフェニルに分解し、無害化されます。反応が完了し、PCBが無くなったことを確認した後、後処理槽に移して、水を少しずつ加えることにより徐々に余剰のナトリウムを安定させていきます。

JESCO豊田事業所では、昨年の12月16～17日に山口県宇部市の製作工場液処理反応槽及び後処理槽の製品検査を行いました。豊田施設では、処理するPCB油の種類毎に液処理工程を4系統に分け、反応槽10基と後処理槽6基を設置します。



液処理反応槽と後処理槽



液処理反応槽に仮蓋をして気密テスト

早期登録・調整協力割引のご案内

JESCOは、PCB廃棄物の処理を計画的・効率的に進めるため、「早期登録・調整協力割引」を導入します。これは、保管事業者の皆様に対して、PCB機器等に関する情報をいただくとともに、PCB廃棄物の搬入のための調整にご協力いただける方については、登録されたPCB廃棄物の処理料に割引が適用される制度です。

この制度のご案内を、愛知県内の保管事業者の皆様には2月1日に、関係自治体のご協力のもと、ダイレクトメールで送付させていただきました。他の3県内については、3月中旬に送付の予定です。

保管事業者の皆様におかれましては、是非ともこの制度をご利用いただき、計画的・効率的な処理の推進に、ご協力をお願いいたします。



工事の状況 液処理機器の据付及び屋上コンクリート打設完了

施設本体の鉄骨の建て方が全て完了し、1月29日には屋上のコンクリートを打設して、建物が上棟しました。また、外壁のALC(軽量気泡コンクリート)パネルの設置も6階まで完了し、2月より外壁の塗装工事を開始していきます。

液処理エリアでは、PCBを受入し、分解するタンク類及び各種薬品のタンク類の設置が完了し、現在配管工事を進めています。液処理エリアの機器類は全て防液堤内に設置され、万が一機器からの漏洩があった場合でも、エリア外へ漏れ出さないようにしています。また、PCBを送る配管についても2重構造にするなどの多重の安全対策が施されています。今後は、これらの機器を制御する計装機器を設置し、各種の検査を実施しながら安全で確実な施工をしていきます。



建物が上棟した現在の状況



液処理設備機器設置状況(7階)

今月の工事予定

- 2月初旬～ 処理設備: 1～7階ダクト配管電気計装工事、機器据付確認、配管耐圧検査
建築: 外壁塗装、給排水衛生・電気工事、間仕切り・天井ボード貼り、塔屋工事
特高受変電所・非常用発電機棟基礎工事、SD受入・ボイラー室基礎工事
- 2月中旬～ 建築: 屋上階防水工事、特高受変電設備据付工事、SD受入・ボイラー室鉄骨建て方、EV工事

施工者から一言

1月は施設全体の鉄骨建て方が完了し、液処理エリアの機器を搬入据付後に屋上のスラブコンクリートを打設し、処理施設が上棟しました。内部では、電気計装工事を本格的に着手したほか、プラントの配管や給排水衛生設備工事及び内装工事を進めています。

外部では、特高受変電所及び非常用発電機棟の基礎工事に着手しています。また、外壁ALCパネルの設置も6階まで完了し、2月より外壁の塗装工事にも着手します。

現場での作業従事者も400人を超え、2～4月の最盛期には600人程度になりますので、今まで以上に安全第一で作業を進めてまいります。

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体

代表者: 株式会社クボタ

構成員: 株式会社神鋼環境ソリューション

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所

0565-37-7226